

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	一般国道232号 天塩バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道天塩郡天塩町字北川口 至：北海道天塩郡天塩町字更岸			延長	8.0 km	
事業概要	<p>一般国道232号は、稚内市から留萌市に至る延長129kmの幹線道路である。</p> <p>天塩バイパスは、旧国鉄羽幌線の跡地利用により、線形改良及び鉄道防雪林の活用を図り、従前から問題となっていた市街地の交通安全や冬期防雪対策を図ることを目的とした延長8.0kmのバイパス整備事業である。</p>					
H5年度事業化	H一年度都市計画決定		H6年度用地着手		H6年度工事着手	
全体事業費	53億円		事業進捗率	69%	供用済延長	3.0km
計画交通量	2,800～4,500台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 3.0	総費用 (残事業)/事業全体 23/83億円 (事業費：11/64億円 維持管理費：12/20億円)	総便益 (残事業)/事業全体 71/97億円 (走行時間短縮便益：68/88億円 走行費用短縮便益：2.4/5.0億円 交通事故減少便益：0.5/3.7億円)	基準年 平成19年		
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=3.2（交通量 +10%） B/C=2.8（交通量 -10%）</p> <p>事業費変動：B/C=2.9（事業費 +10%） B/C=3.2（事業費 -10%）</p> <p>事業期間変動：B/C=3.0（事業期間+20%） B/C=3.0（事業期間-20%）</p>					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・災害への備え（現道等の冬期交通障害区間の解消） ・物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる） ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる）他5項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見	<p>安全・安心な生活環境の確保、活力ある地域づくりや経済活動の発展及び道北地域における物流ネットワークの形成の実現に向けて、天塩町など1市7町1村の首長等で構成される期成会より早期整備の要望を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>平成15年に道の駅「てしお」供用。平成16年には豊富バイパスが供用している。</p> <p>平成18年に当該道路区間がシーニックバイウェイ北海道の候補ルートに指定される。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成6年度より工事着手して、用地進捗率100%、事業進捗率69%となっている。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代前半の事業完了を予定している。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>旧国鉄廃線跡地の有効活用、軟弱地盤対策、建設副産物の活用等によりコストの縮減を図っている。</p>					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	<p>以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>					
事業概要図	<p style="text-align: center;">天塩バイパス L=8.0km</p> <p style="text-align: center;">供用中 L=3.0km</p> <p>凡例 供用中 再評価箇所 うち供用済</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。